



第58期(2010年3月期) 決算説明会



東京物流センター

2010年5月28日



**1. 第58期(2010年3月期)
決算概要**



連結業績概要

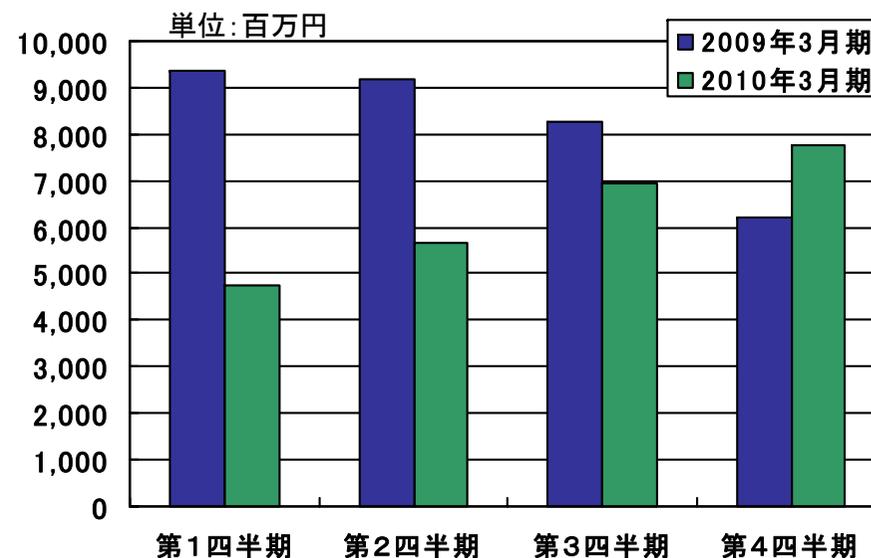
2010年3月期

景気回復の兆しが見え始めたものの、本格的な回復までには至らず
以前厳しい状況が継続。

売上、利益ともに大幅に減少。

	2010年3月期	前期比
1株あたり 純利益	6円39銭	▲20円91銭
自己資本比率	64.6 %	1.0 % 増
1株あたり 純資産	1018円81銭	6円21銭増

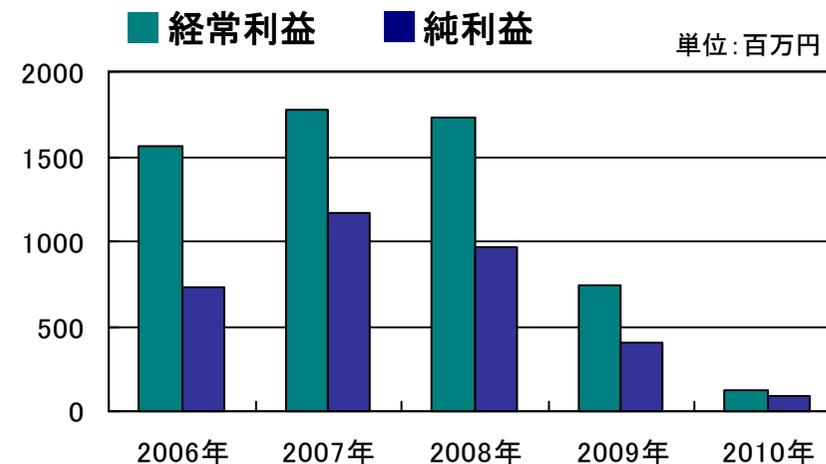
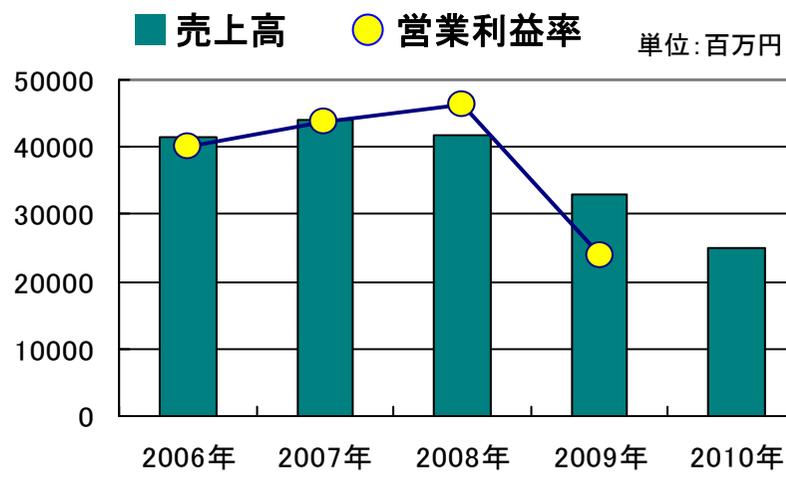
売上高推移



連結業績

単位:百万円

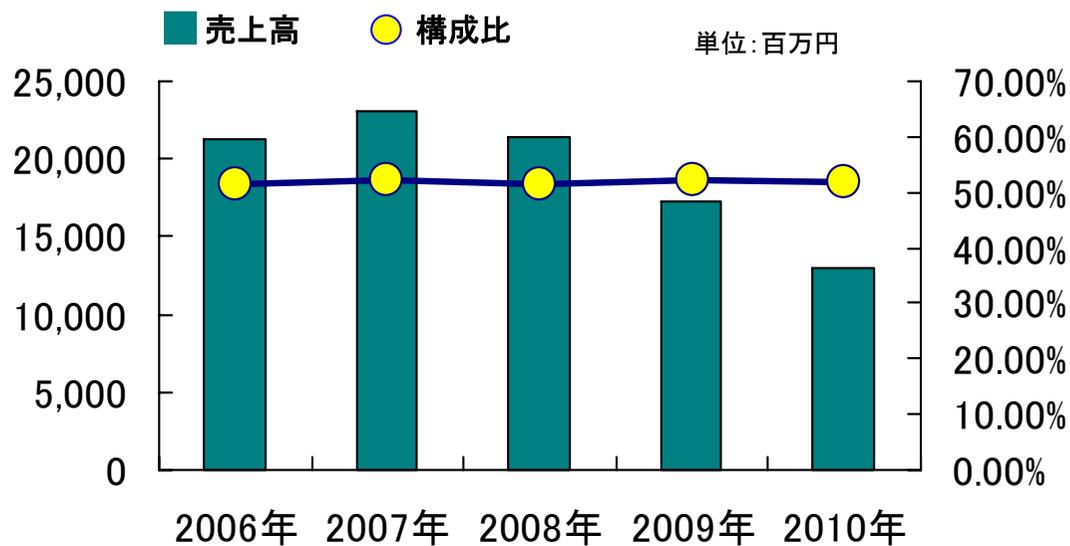
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	10年3月	2010年 3月23日 公表時予想	差異
売上高	41,439	44,169	41,772	33,034	25,068 (▲24.1%)	24,700	368 (1.5%)
営業利益	1,336	1,559	1,542	620	▲14 (—%)	▲168	153 (—%)
(営業利益率)	3.2%	3.5%	3.7%	1.9%	—%	—%	—%
経常利益	1,567	1,778	1,726	746	120 (▲83.8%)	▲33	153 (—%)
(経常利益率)	3.8%	4.0%	4.1%	2.3%	0.5%	—%	—%
純利益	733	1,169	968	399	93 (▲76.6%)	32	61 (191.8%)
1株当り配当金	20円	29円	33円	14円	0円	0円	—円



FA機器分野(連結)

単位:百万円

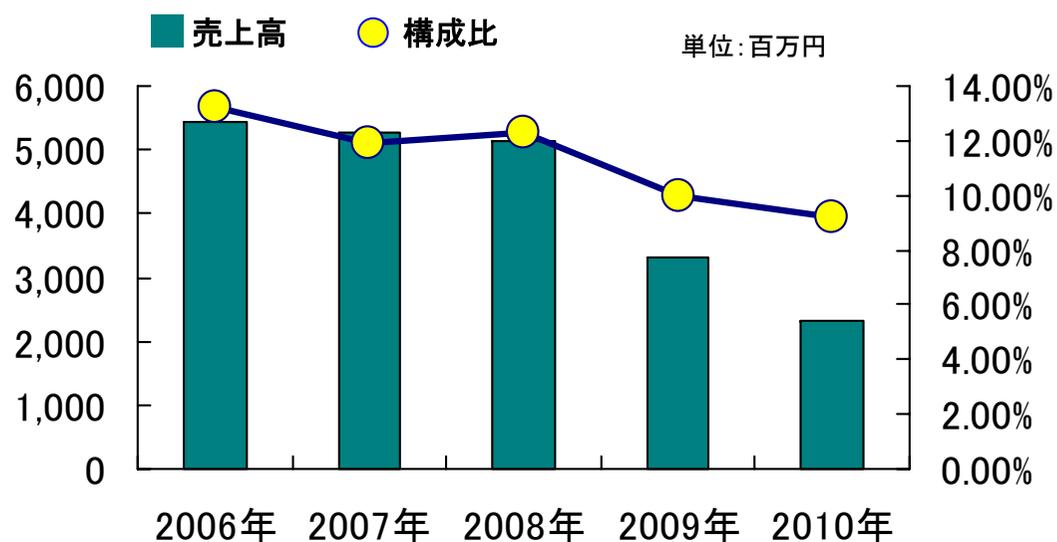
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期
売上高	21,256	23,073	21,460	17,323	13,010
伸長率	▲ 0.6	8.5	▲ 7.0	▲ 19.3	▲ 24.9%
売上高 構成比	51.3%	52.2%	51.4%	52.4%	51.9%



情報・通信機器分野(連結)

単位:百万円

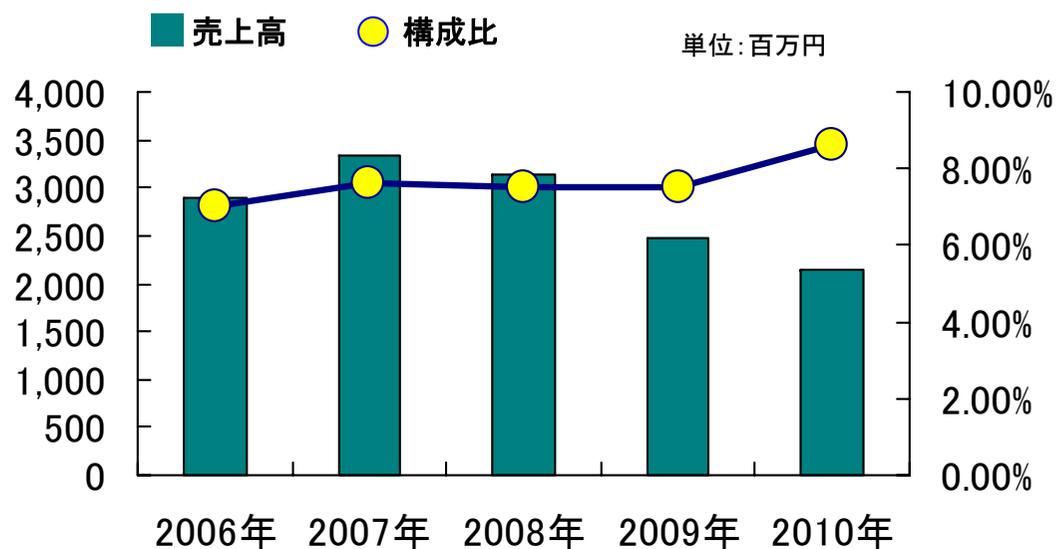
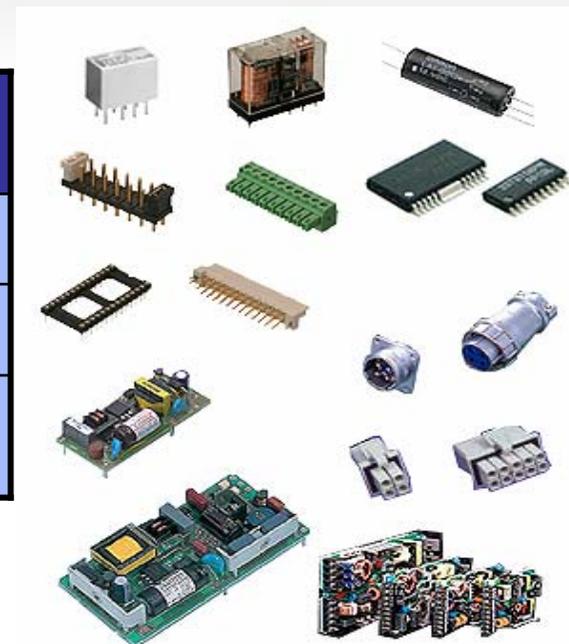
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期
売上高	5,451	5,264	5,144	3,306	2,322
伸長率	▲ 7.7	▲ 3.4	▲ 2.3	▲ 35.7	▲ 29.8%
売上高 構成比	13.2%	11.9%	12.3%	10.0%	9.2%



電子・デバイス機器分野(連結)

単位:百万円

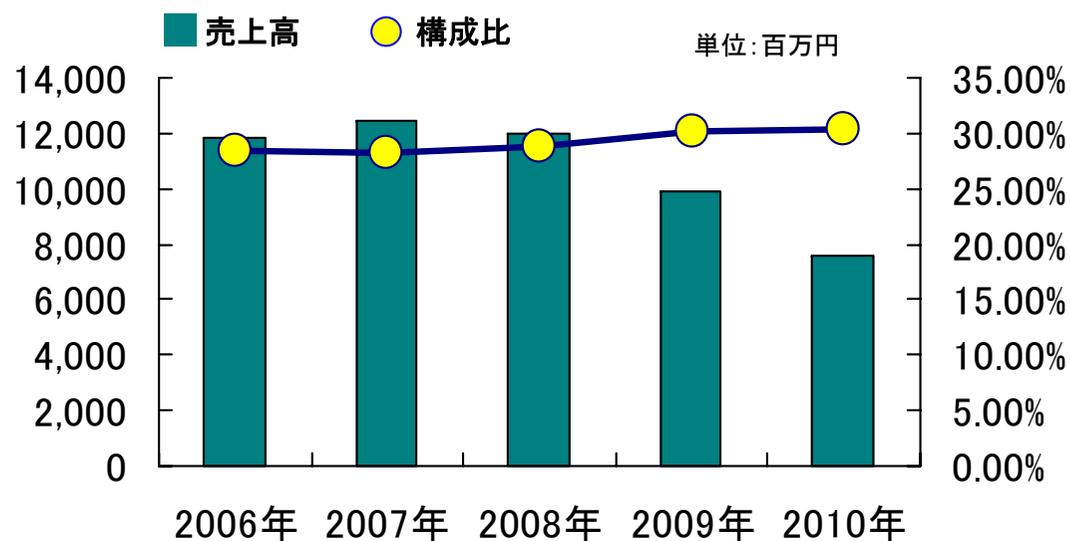
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期
売上高	2,894	3,347	3,140	2,481	2,148
伸長率	1.7	15.6	▲ 6.2	▲ 21.0	▲ 13.4%
売上高 構成比	7.0%	7.6%	7.5%	7.5%	8.6%



電設資材分野(連結)

単位:百万円

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期
売上高	11,836	12,483	12,027	9,923	7,587
伸長率	5.4	5.5	▲ 3.7	▲ 17.5	▲ 23.5%
売上高 構成比	28.5%	28.3%	28.8%	30.1%	30.3%



要約連結貸借対照表(資産の部)

単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期	増減額(前期比)
流動資産	14,199	14,098	▲101
（現金及び預金）	5,490	5,015	▲475
（受取手形及び売掛金）	7,203	7,534	331
（商品）	1,135	1,222	87
（繰延税金資産）	86	105	19
固定資産	9,055	8,955	▲100
（有形固定資産）	7,728	7,599	▲129
（無形固定資産）	170	164	▲5
（投資その他の資産）	1,156	1,191	34
資産合計	23,255	23,053	▲201

- ・流動資産は、現金及び預金が4億75百減少し、受取手形及び売掛金が3億31百万円、商品が87百万円増加した結果、1億1百万円減少しました。
- ・有形固定資産は、宮城県黒川郡大和町の土地取得による増加がありましたが、資産の売却や減価償却の進展で1億29百万円減少しました。

要約連結貸借対照表(資本・負債の部)

単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期	増減額(前期比)
流動負債	4,606	5,681	1,075
（支払手形及び買掛金）	3,462	4,449	987
（短期借入金）	502	654	152
固定負債	3,847	2,479	▲1,367
（長期借入金）	2,655	1,309	▲1,346
（退職給付引当金）	1,002	997	▲5
負債合計	8,453	8,161	▲292
（資本金）	1,819	1,819	—
（資本剰余金）	1,532	1,532	—
（利益剰余金）	11,709	11,715	5
株主資本合計	14,839	14,845	5
評価・換算差額等合計	▲38	46	85
純資産合計	14,801	14,892	90
負債純資産合計	23,255	23,053	▲201

・負債は、主に支払手形及び買掛金の増加9億87百万円と借入金の減少11億94百万円により、2億92百万円減少しました。

・自己資本比率は、前連結会計年度末の63.6%から64.6%へ1.0%上昇しました。

要約連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,503	978
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,104	▲123
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲596	▲1,334
現金及び現金同等物の増・減(△)額	▲217	▲478
現金及び現金同等物の期首残高	4,698	4,480
現金及び現金同等物の期末残高	4,480	4,002

①営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、営業債権の増加3億31百万円、たな卸資産の増加85百万円による資金減少、仕入債務の増加9億86百万円、税金等調整前当期純利益2億21百万円、減価償却の発生2億10百万円による資金増加によります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

主に、宮城県黒川郡大和町に工場設立の目的で取得した土地購入代金の支払い2億63百万円及び千葉県松戸市の東京物流センターの建設資金残額の支払い1億92百万円と既存設備売却による収入3億75百万円によります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、期中における資金調達による5億円の増加、約定弁済による借入金の返済4億94百万円と当期末に返済した借入金の期前弁済12億円によります。



2. 第59期(2011年3月期)の見通し



2011年3月期の見通し

電気機器・電子部品・産業機械業界

半導体・液晶製造装置関連機器メーカー
産業機器メーカー

生産活動、設備投資は昨年末から回復しており、
この傾向が継続するものと予測



上昇基調で推移するものと予測

FA機器、電子・デバイス機器分野

生産は回復が継続し、
設備需要の回復も進むと
予測

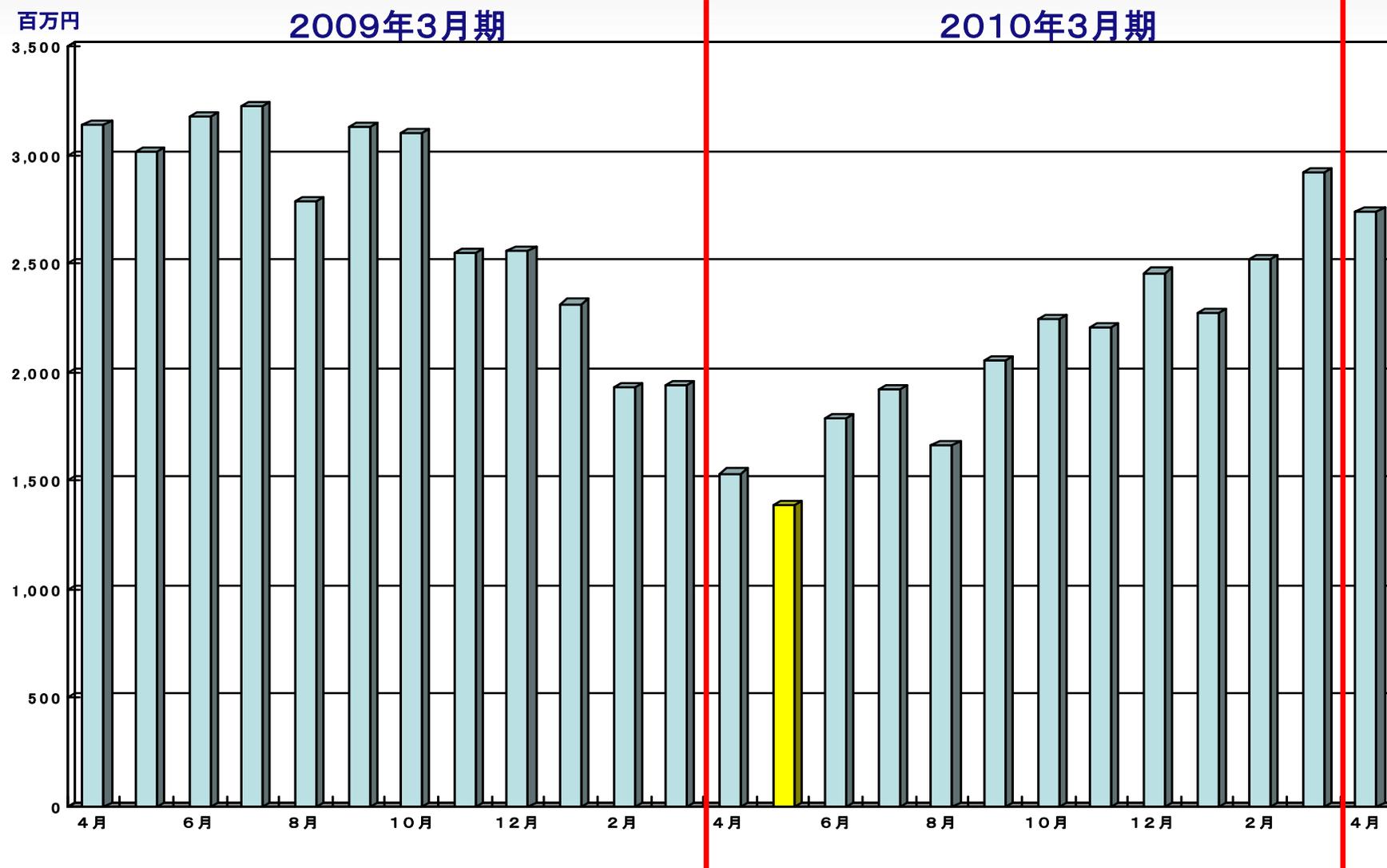
情報・通信機器分野

法人向けカスタムパソコン、
機器組込み用ボードコン
ピュータ等需要が、回復
するものと予測

電設資材分野

新規着工の回復は遅れる
ものの、工場設備需要や
リニューアル需要は徐々に
回復するものと予測

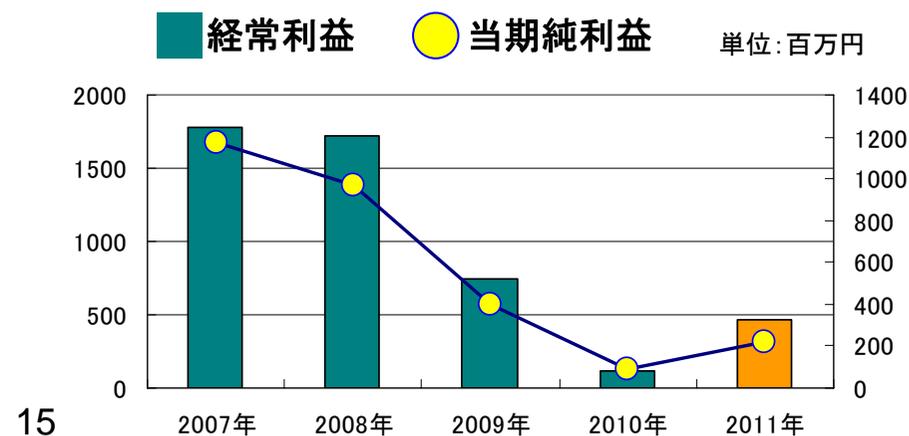
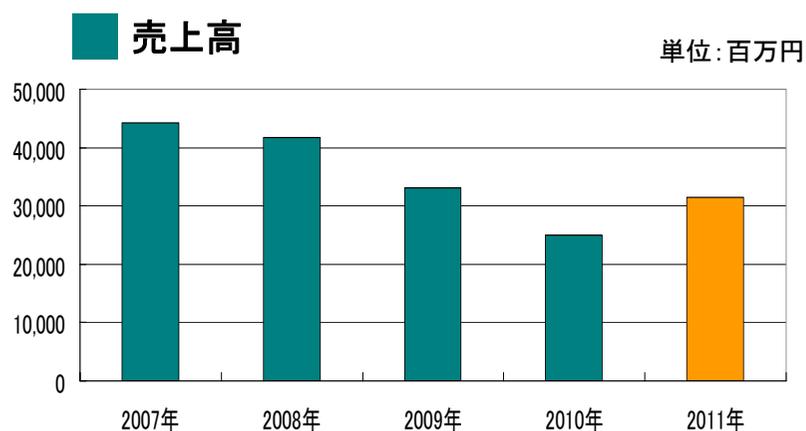
月次売上推移(個別)



連結業績予想

単位:百万円

	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期(予想)
売上高	44,169	41,772	33,034	25,068	31,400 (25.3%)
営業利益	1,559	1,542	620	▲14	350 (-%)
経常利益	1,778	1,726	746	120	470 (289.0%)
(経常利益率)	4.0%	4.1%	2.3%	0.5%	1.5%
当期純利益	1,169	968	399	93	220 (135.6%)
1株当たり当期純利益(円)	80.99	66.34	27.30	6.39	15.05
1株当たり年間配当金 (うち 中間/記念)	29円 (8円/—)	33円 (10円/10円)	14円 (8円/5円)	0円 (0円/0円)	5円 (0円/—)
配当性向(%)	35.8	49.7	51.3	—	33.2



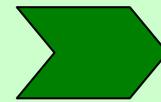


3. 重点課題戦略



当社の取組み

58期～60期【キーワード】
Re-Birth スズデン

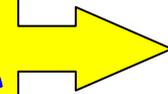


利益の最大化と徹底した
ローコストオペレーション

お客様にとって良いことを徹底して考え、実行することによって、
顧客満足度向上を図る

【59期 キーワード】
チャレンジ —何もしないことが罪—

改善を前提に
原則人員は増やさない



組織の壁を越えて、顧客満足を追求することを目指す

間接部門は効率化、精度向上、ローコストオペレーションを徹底して実行していく。
営業は守るべきはきちり守りマーケット活動による提案営業により、徹底した
攻めの営業、戦う営業、諦めない営業の徹底をして行く。

経営戦略① 経営組織体制の見直し

【ガバナンスの強化】

- ①取締役人数を8名から5名へ
- ②社外取締役の選任

【組織の大幅な再編】

営業統括1部～9部、業務統括部、管理統括部、社長室に再編

【ねらい】

- ①監督と執行を更に明確に分離し、機能させる
- ②執行役員を統括部長とし、意思決定及び指示命令の迅速化を図り、チャンスを的確にとらえ売上に確実に結びつける

経営戦略② もの造り拠点の構築

◆大和(たいわ)プロジェクト【大和工場(仮称)＋東北地区事業再構築】

所在地	宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ3番
建設面積	約 3,500 m ²
投資総額	約10億円 (土地、建物、什器備品、システム費用等)
人員	約30名
内容	加工工場 (アッセンブリー、ユニット加工、組立加工など)
スケジュール	2010年 4月 着工 2010年10月 完工予定 2010年11月 稼動予定

大和工場(仮称)完成予想図

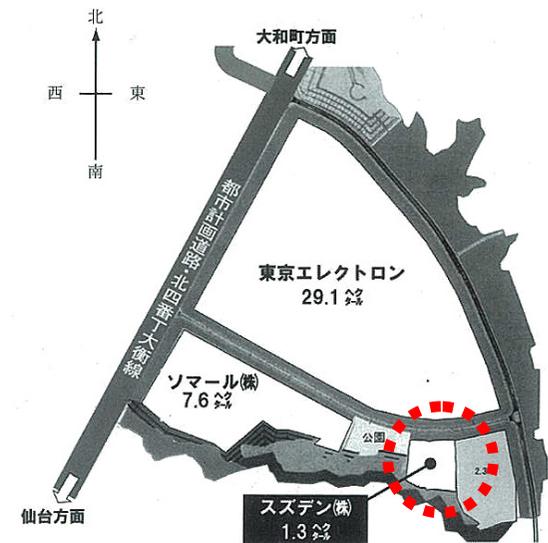
第二仙台北部中核工業団地
(セントラル自動車他)

仙台北部中核工業団地
(トヨタ自動車東北他)

大和流通工業団地
(パナソニックEVエナジー他)



大和町テクノヒルズ
(リサーチパーク)



営業戦略

①成長・安定業界への営業力強化の継続

三品業界(食品・医薬品・化粧品)、環境関連業界、二次電池業界、
鉄道・電力等のインフラ業界

食品・環境・二次電池関連業界は担当者を決め、目標・施策を明確にする。

②小額取引先ビジネス強化

- ◆インターネット通販サイト「FA-UBON」の強化
コンテンツ、企画の充実、モールへの出店検討
- ◆WEBビジネスの拡充 ……既存業界以外(NON FA)への販売

③メカトロと環境ビジネスへの注力

メカトロ営業所と環境ビジネス営業所を中心として、全社で展開

④業種業態別営業推進 ……半導体製造装置、食品関連、盤・エレベータなど

営業戦略

⑤ 快適工場提案

品質・環境(省)・安全をキーワードに工場全体の快適化を提案

＋リフレッシュ提案＋省エネ工場提案など・・・アプリケーションの横展開

国際食品工業展(FOOMA JAPAN / 6月8日～11日)に出展、新規顧客を開拓

「快適工場」は業界ニーズの最適対応から。

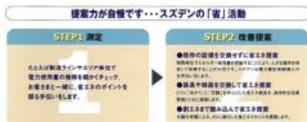
異物混入防止、防水、防虫、クリーンな環境づくり。

業界内外の食品衛生管理の強化を促して製造業の信頼を回復すること。
「快適工場」は食品衛生管理の強化を促して製造業の信頼を回復すること。
「快適工場」は食品衛生管理の強化を促して製造業の信頼を回復すること。



使用電力量の計測から器具・機器の交換、
そして太陽光発電まで。
商社だからできる幅広い「省」のお手伝い。

環境省が推進する「省エネ」活動の推進を支援する「省」活動。
環境省が推進する「省エネ」活動の推進を支援する「省」活動。
環境省が推進する「省エネ」活動の推進を支援する「省」活動。



設備リフレッシュで、
工場はもっと快適になれるはず。

商社だからできること・・・工場まるごと、快適空間へ。

工場まるごと、快適空間へ。工場まるごと、快適空間へ。工場まるごと、快適空間へ。



「あかり」はスズデンにおまかせ!
いつも明るい「快適工場」づくり。
スズデンの「あかり安心サービス」

「快適工場」づくりのご相談は、「総合駆けつけ営業」または「環境ビジネス営業」までご連絡下さい。

スズデン株式会社

詳細は、お手元のパンフレットをご覧ください!

商品戦略

注力商材

- 環境ビジネス …測定・監視機器、太陽光発電、LED照明等
 フィービジネス(商品ではなく、機能を提供するサービス)
 「安心サービス」でお客様への経費削減、環境配慮の提案並びに取り扱い商材の更なる拡大
- メカトロ系商材 …メカトロ営業所を中心に拡大(電動シリンダ、ACサーボモーター、ロボット)
- エンベデッド(産業用組込みボードコンピュータ) …展示会(ESEC)への出展
 「組込みシステム」のトータルソリューション提案の継続

主要仕入先商材

オムロン、パナソニック電工、日東工業等の国内有カメーカーからの直接仕入れによる安定供給での顧客満足獲得

【当社の主な取扱い商品】

オムロン …制御機器・FAシステム、電子部品等
 パナソニック電工 …照明器具、配線器具、その他電設資材
 日東工業 …ボックス、分電盤、制御盤、システムラック等

当社オリジナルブランド ユーボン

- ◆少量販売と豊富な品揃え(多品種)
 - ◆ユーボン販売推進課による売上拡大策の実施
 - ・取扱いメーカー、商品の拡大
 - ・出前展示会の実施
 - ・加工品目の拡大(電線・端子台・ハーネス等)
- ※ユーボンカタログ(6月発刊予定)

技術戦略

■システムソリューション

顧客ニーズに直結したソリューション提案営業による大型商談の獲得を狙う。

アプリケーションソフトを
主体としたシステム構築



データ処理を主体とした
システム構築

■アプリケーション

センサー、PLC、視覚認識装置、メカトロ関連商品等の高機能商品を軸に顧客ニーズに直結した最適な製品の組み合わせによる提案営業を営業所との連携で行い、きめ細やかなサービスを提供。

積極的な横展開 ⇒ お客様のシステム化支援



アプリケーション事例集による社内への啓蒙

■ベルセミナーの継続

快適工場セミナー、商品セミナー（IAI、デジタル等）

物流戦略

- ・物流システムの構築継続(業務改善)
- ・バーコード検品システムの推進による物流品質の向上
- ・免震構造による危機管理

全 景



免震装置



その他施策①

■IFRSへの対応

■社内システムの再構築検討 (ネットワーク、クラウドコンピューティングの検討)

■人材共育投資の強化を継続

■事業継続マネジメントの構築・・・有事の初動策定(BCP) (BCM: Business Continuity Management)

■CSR

- ・コンプライアンス
・・・CSR要綱をパートタイマー・派遣社員を含む全社員へ配布
- ・中学生社会体験学習の受入れの継続
- ・寄付の継続

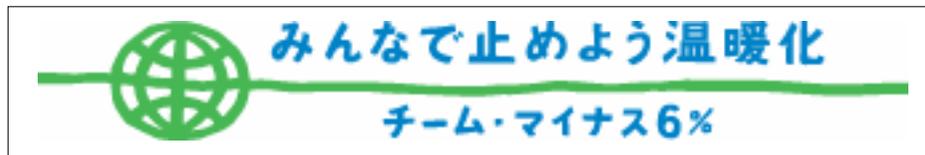
■固定資産見直しの継続

両国・横浜・立川・多摩等の土地・建物の見直しを継続

その他施策②

■ 環境への取組み

- ・ 「チームマイナス6%」への参加



- ・ ISO14001マネジメントシステムによる継続的改善

- ① 省エネルギー、リサイクル、資源の有効活用の推進
- ② 環境配慮型商品の販売推進
- ③ 仕入先様との品質改善会議の継続
- ④ 環境に配慮した物流
- ⑤ 「安心サービス」の促進
- ⑥ ペットボトルキャップの回収
(400個=1kg=10円、20円でポリオワクチン1人分に！)



スズデン株式会社

【注意事項】本資料に記載されている、スズデン株式会社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

(参考資料)
企業概要



プロフィール(平成22年3月31日現在)

社号	: スズデン株式会社
英文社名	: SUZUDEN CORPORATION
本社	: 東京都文京区湯島2丁目2番2号
資本金	: 1,819,230,000円
創業	: 昭和23年1月
設立	: 昭和27年12月
決算期	: 3月31日
社員数(連結)	: 369名
株主数	: 6,636名

沿革

- 1948年 1月：鈴木電気商会を創業
- 1952年12月：鈴木電業株式会社を設立
- 1991年 4月：スズデン株式会社に商号変更
- 1996年12月：日本証券業協会（現：JASDAQ）に
店頭売買銘柄として登録
- 2004年12月：東京証券取引所市場第二部に上場
- 2007年 6月：東京証券取引所市場第一部に指定

■社 是

「誠 実」

■コアコンピタンス

「もの造りサポーティングカンパニー」

経営の基本方針(1)

【社会的責任】

国・地方自治体への納税を基本とし、かつ世界の将来を担う世代や教育機関を対象とした継続的な寄付と、地域社会や災害復興を目的とした寄付を行っています。

【投資家の皆様】

配当性向33%を基本に考えてまいります。

【お客様】

お客様が望む商品・ソリューションを的確に提案し、商品品質・サービス品質を向上させるとともに、お客様の多様なニーズに適切かつ迅速にお応えし、お客様の満足度を高めてまいります。

「顧客第一」 — 買っていただく喜び —

経営の基本方針(2)

【社員】

「社員一人ひとりの自立が企業の成長につながる」を基本とし、社員は自己の能力を最大限に発揮し、会社は個人を尊重して働きがいのある場を提供し、会社も個人も共に成長できる経営を行ってまいります。

【共育】

お客様の満足度を高めるため、社員一人ひとりに適切な教育・訓練及び経験の機会を提供し「共に育つ」を教育理念としてまいります。

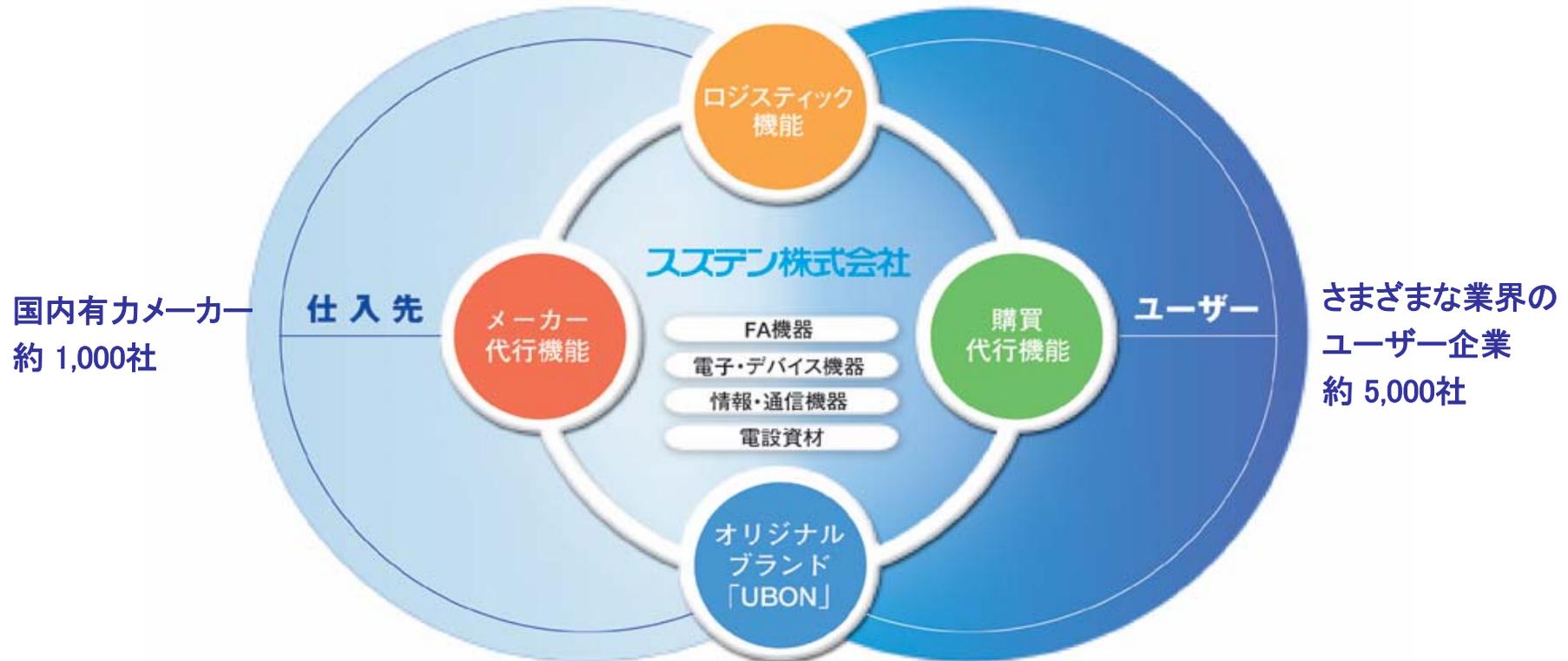
【地域社会】

循環型社会構築に向け地域社会との融和を図り、企業市民として順法・地球環境の向上・安全を基本として活動してまいります。活動を具体化するため、環境方針を定め行動します。

ビジネスモデル

「もの造りサポーティングカンパニー」

ISO9001 ・ ISO14001



当社システムエンジニアによる技術支援を柱に、高機能商品・システムのご提案やアプリケーションソフトのご提供をメーカーに代わって行う「メーカー代行機能」、独自の情報・物流システムで構成される「ロジスティック機能」、お客様の一括購買を代行する「購買代行機能」、お求めやすい価格・小ロットによるオリジナルブランド「UBON」などの機能を最大限に発揮し、広くもの造りの現場に貢献しています。

取扱い商品



- スイッチ ●リレー ●タイマー ●センサー
- PLC ●温度調節器 ●視覚認識装置
- 制御盤 ●表示機器 等

FA機器分野

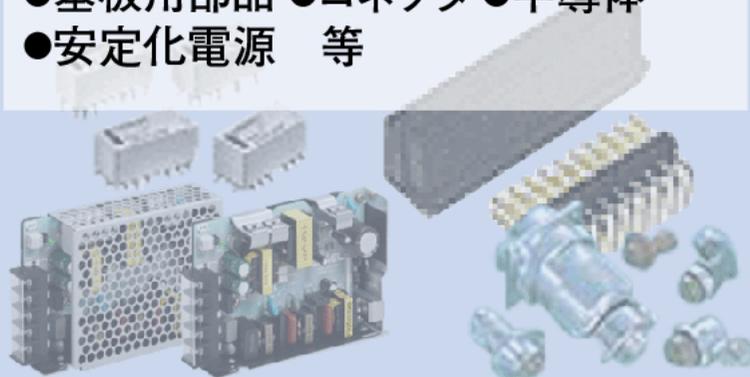


- 組込み用ボードコンピュータ
- パソコン ●周辺機器 ●パソコンパーツ
- ネットワーク機器 等

情報・通信機器分野

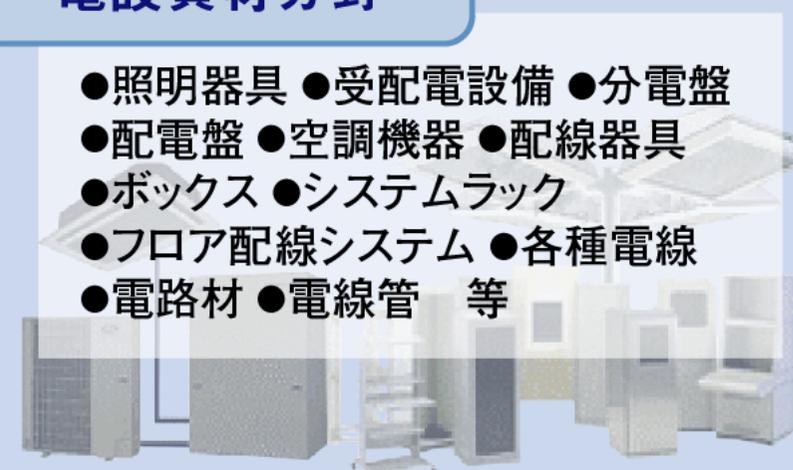
電子・デバイス機器分野

- 基板用部品 ●コネクタ ●半導体
- 安定化電源 等



電設資材分野

- 照明器具 ●受配電設備 ●分電盤
- 配電盤 ●空調機器 ●配線器具
- ボックス ●システムラック
- フロア配線システム ●各種電線
- 電路材 ●電線管 等



国内の拠点・子会社、海外子会社

■国内拠点(11部、2室、38営業所、1店舗、9課、3センター)

- ・営業統括1部(9営業所) ・営業統括2部(9営業所)
- ・営業統括3部(4営業所) ・営業統括4部(4営業所) ・営業統括5部(6営業所)
- ・営業統括6部(2営業所、1店舗) ・営業統括7部(1営業所)
- ・営業統括8部(3営業所、2課) ・営業統括9部(1センター)
- ・業務統括(2センター、2課) ・管理統括部(5課)
- ・社長室 ・内部監査室

■国内子会社

- ・スズデンビジネスサポート株式会社

■海外子会社

- ・SUZUDEN SINGAPORE PTE LTD
- ・SUZUDEN HONG KONG LIMITED (鈴電香港有限公司)
- ・斯咨電貿易(上海)有限公司(SUZUDEN TRADING(SHANGHAI)CO.,LTD)